

前立腺癌の放射線療法が進化しているのはご存知ですか？

Q 前立腺癌の治療法は？

転移のない限局性前立腺癌の根治的治療法は大きく分けると手術療法、放射線療法の2つがあります。近年、手術療法では手術支援ロボット(Da Vinci)の導入により合併症減少や入院期間の短縮が騒がれておりますが、放射線療法もそれに負けず進化を遂げています。

Q 放射線療法について

放射線療法は内照射と外照射の2つに大別されます。内照射では、放射線を出すカプセルを前立腺内に挿入して内部から放射線を照射します。それに対して外照射は体の外から前立腺に放射線を当てて死滅させます。

Q SpaceOAR留置はどのように行うのか？

放射線療法は内照射と外照射の2つに大別されます。内照射では、放射線を出すカプセルを前立腺内に挿入して内部から放射線を照射します。それに対して外照射は体の外から前立腺に放射線を当てて死滅させます。

Q 放射線治療が終了した後SpaceOARは体内に残るの？

SpaceOAR留置後は下図のように3ヶ月ほどゲルは固まった状態で形状が安定しており、約6ヶ月後には吸収され体

当院では外照射を採用していません。入院の必要はなく外来で治療を受けることができます。1日1回週5回照射し、2ヶ月ほどの治療期間を要します。

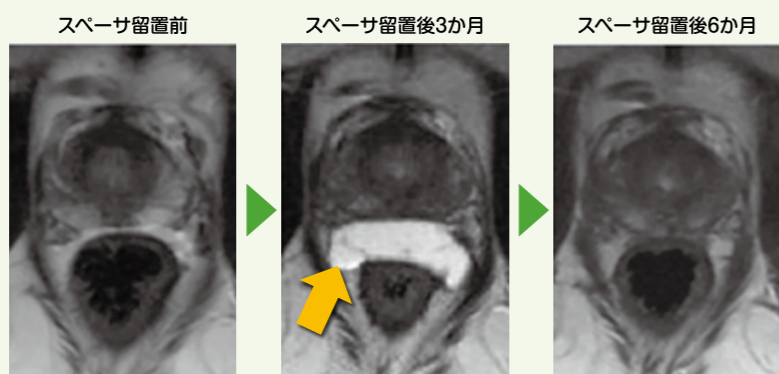
Q 放射線療法の副作用は？

急性期有害事象：放射線治療中から終了して数ヶ月以内
食欲低下、倦怠感、頻尿、排尿症状(勢いが弱まったり、排尿困難感)、排便時痛、下痢などがあります。

Q SpaceOARとは？

放射線療法での晩期有害事象

外へと排出されるため、放射線治療が終わる頃には体内には無くなっています。

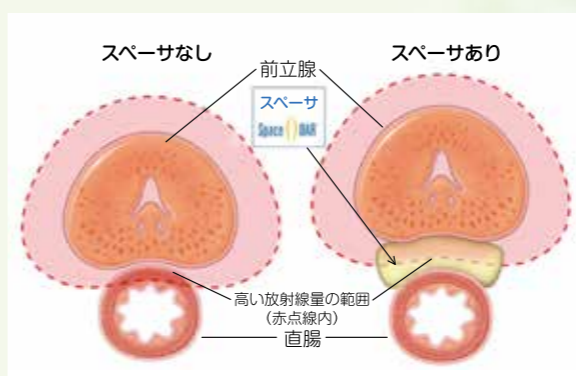


出典：shkt-urology.jp

Q SpaceOAR留置の合併症は？

下半身麻酔の合併症と処置による合併症が起こり得ます。下半身麻酔の合併症としては血圧低下などの循環障害や神経障害、

の一つである直腸障害を軽減する目的で開発されたのがPEGハイドロゲル直腸周囲SpaceOARです。我が国では2018年6月に保険適応となりました。SpaceOARの介在がない場合には左図のように前立腺と直腸が近接しており、直腸にあたる放射線量を0にすることは不可能ですが、右図ではSpaceOARの介在により前立腺と直腸との間に空間をつくる



出典：shkt-urology.jp

呼吸障害が起こり得ます。また下半身麻酔後の頭痛なども術後数%が一過性に起こり得ます。処置による合併症としては、血尿や便秘などが挙げられます。当院では幸いなことに今のところ重篤な有害事象は経験しておりませんが、誤注入などが原因と考えられる直腸潰瘍や尿閉などは国内で数件報告されております。

当院では前立腺癌の放射線治療に際して2019年よりSpaceOAR留置を行なっております。希望される方は泌尿器科外来までご相談ください。

今月の先生

岐阜市民病院 泌尿器科
西脇 哲平

○卒業年
令和2年卒

